

こんにちは 議会です!!



多賀中学校生徒会の皆さん



(撮影の為、マスクをはずしています)

- 新年度予算を審議 2
- 意見交換会 10
- 3月定例会 6
- 町政を問う(10人が一般質問) 11
- 総務常任委員会 8
- 議会の新体制 17
- 産業建設常任委員会 9
- 結のひと 結のまち 18

過去最高予算・・・57億5000万円 国庫交付金・繰入金・町債 増額 認定こども園・都市公園 建設

多賀町の4年度予算を1000分の1に圧縮し、年収575万円の「たが家」の家計に例えてみた。

年収575万円の「たが家」家計に例えると… 【歳入・歳出 57億5000万円】

収入

基本給 (町税)	163万円 減 16億2800万円
諸手当 (法人事業税交付金 消費税交付金 使用料・手数料 分担金・負担金)	31万円 減 5100万円 1億8000万円 4300万円 3100万円
親の援助 (地方交付税 国庫支出金 地方譲与税 地方特例交付金 交通安全特別交付金 県支出金)	222万円 増 13億9500万円 4億100万円 6700万円 1300万円 100万円 3億3900万円
ローン借入れ (町債)	60万円 増 6億300万円
預金の取崩し (繰入金)	61万円 増 6億1500万円
その他 (寄付金・諸収入)	36万円 3億5700万円

支出

生活費 (人件費・物件費など)	196万円 増 19億5564万円
医療・教育・介護費 (扶助費)	57万円 減 5億7150万円
家族への仕送り (補助費など 繰出金)	129万円 増 6億9369万円 5億9832万円
家の修繕・改築費 (投資的経費)	139万円 増 13億9063万円
ローンの返済 (公債費)	51万円 減 5億500万円

預金残高 (積立金)	141万円 14億1200万円
ローン残高 (町債残高)	1041万円 104億800万円

※端数整理している為、合わない場合があります。

● 特別・企業会計

区分	予算額	おもな事業
国民健康保険	8億7297万円	医療給付費、特定健診
後期高齢者医療事業	1億2037万円	保険給付費
介護保険事業	8億7822万円	介護給付費、介護予防、日常生活支援
育英事業	387万円	奨学金の給付
工業団地公共緑地維持管理	727万円	道路、街路灯の維持管理
農業集落排水事業	6936万円	2地区の処理場、管路管理、維持
多賀財産区管理	14万円	財産管理費、議会費
大滝財産区管理	123万円	同上
霊仙財産区管理	13万円	同上
水道事業	収益的支出 3億2860万円 資本的支出 1億9116万円	施設・管路管理、維持 管路の改修等
下水道事業	収益的支出 3億9472万円 資本的支出 2億6222万円	流域下水道負担金、管路の維持管理 雨水排水、企業債の返還

防災・行政事務・返済・積立て

- 防災費 (消防団、避難用備品、自警団) …… 2億1001万円
- 行政事務費 …… 5億8725万円
- 町債返済金 …… 5億517万円
- 基金への積立金 …… 3043万円
- 予備費 …… 400万円

教育・子育て・生涯学習

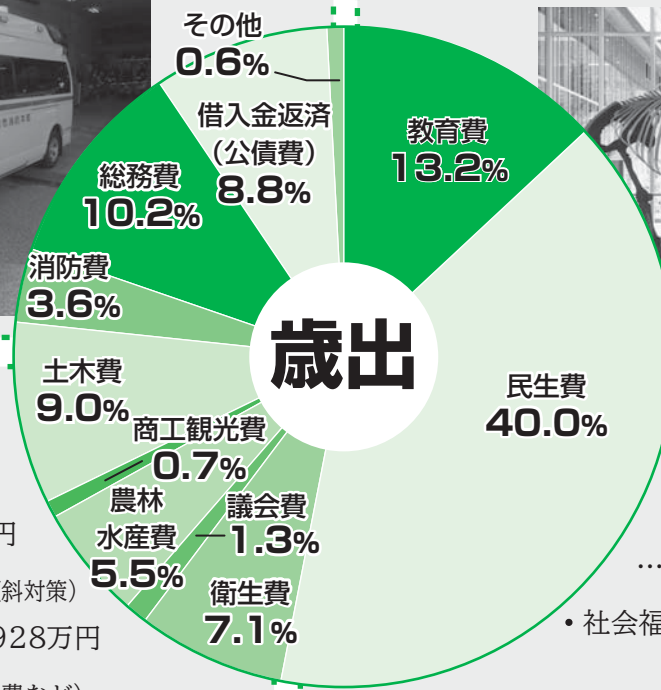
- 小学校費 …… 1億6654万円
- 中学校費 …… 1億2148万円
- 幼稚園費 …… 6668万円
- 生涯学習 (公民館、博物館、体育施設) …… 2億8716万円
- 教育総務費 (外国語教育など) …… 1億1853万円



救急車(犬上分署)



国の天然記念物に指定アケボノツウ化石多賀標本



まちづくり

- 道路橋梁費 …… 1億8927万円
- 河川費 (河川愛護、急傾斜対策) …… 5928万円
- 都市計画費 (公園整備費など) …… 2億6665万円
- ごみ対策費 …… 2億349万円
- 農林水産業費
農業費 …… 1億9065万円
林業費 …… 1億2507万円
- 商工費 …… 2820万円
- 観光費 …… 1463万円



都市公園(イメージ図)

福祉・健康づくり

- 児童福祉 (保育園、認定こども園、子育て支援) …… 16億4068万円
- 社会福祉 (高齢者、障がい者支援、福祉医療) …… 6億5894万円
- 健康づくり (健診、予防接種) …… 1億2841万円



認定こども園(イメージ図)

行政事務

(総務費・企画費)

主な予算項目	(万円)
都市公園の整備工事	1億1747
まちづくり活動支援交付金	1335
スマートインター下り線開通式補助	100
ふるさと納税業務委託	1673
大滝地域活性化支援委託	189
地域おこし協力隊	463
福祉バス運行委託料	473
愛のりタクシー事業負担金	3213
路線バス運行補助金(2路線)	2518
印刷製本費(広報たが)	480
地方公務員定年延長制度支援委託	242
近江鉄道活性化再生協議会負担金	907
参議院・県知事選挙費	1171



問 都市公園の工事は中央公民館の隣接地1・4haの農地を購入し、遊具や芝生のある都市公園に整備する。5年度完成予定。

問 ふるさと納税返礼品などの経費は

答 寄付金の合計額に対し返礼品30%、事務費20%、計50%を超えてはならない。

問 地域おこし協力隊は

答 大滝地域活性化の取り組みに関わっていただく。家賃補助や研修受講を補助する。



問 近江鉄道活性化の負担金と今後は

答 人件費を除く経費を県も含め沿線自治体で負担する。6年度からは沿線自治体のみで第三者事業者として経費を負担。

まちづくり・産業

(商工費・農林水産費・土木費)

主な予算項目	(万円)
スマートインター上り線負担金	2820
〃 下り線負担金	500
被災住宅修繕支援	2000
通学路安全対策(神田～岡山団地)	550
除雪委託料(業者・集落)	680
急傾斜崩壊対策工事(萱原)	4950
広域行政(燃えないごみ)	3239
〃 (燃やすごみ)	5313
農業機械購入補助	1600
サル個体数調整	437
有害鳥獣駆除委託料	1122
林業再生計画事業	3000
がんばる商店応援補助金(新規1件)	200
観光名所ライトアップ事業	320



問 除雪の体制は

答 町道の除雪を11社に委託。集落の除雪を多賀区と富之尾区に委託。重機のリース料は町が負担する。

問 雪害の住宅修繕は

答 工事完了の期限を延長し、上限20万円の100件分を計上した。

問 有害獣の駆除は

答 4月から再開する。八重練周辺でサルの被害が大きいため、大型捕獲おりを設置。100頭の捕獲をめざす。シカ480頭の駆除を計画。



問 林業の再生計画事業の効果は

答 木材の流通に必要な木材乾燥施設、原木を貯留するための土場を整備し、仕分けに必要な重機(グラップル)を購入した。運送経費も削減できており、3000mの原木を出荷した。

教育・生涯学習

(学校教育費・社会教育費)

主な予算項目	(万円)
新 認定こども園建設工事	8億8099
放課後児童クラブ送迎委託	93
放課後児童クラブ講師派遣	2024
中学校自転車置き場補修工事	600
小中学校通学バス委託料	2980
外国語指導業務委託料(小中学校)	950
スクールサポートスタッフ関連	386
コンピューター借上げ料(小中学校)	1374
体育施設指定管理料	3543
アケボノゾウ資料作成委託	604
あけぼのパーク修繕	1600
町指定文化財修理(多賀大社・胡宮神社)	1009



問 新たな認定こども園今後の予定は

答 昨年度は用地購入と設計、進入路の改良。今年度で園舎の工事を完了し、5年4月開園をめざす。



問 放課後児童クラブの講師派遣は

答 資格を持った講師を8人配置する。

問 スクールサポートスタッフの業務と人数は

答 授業の準備や、消毒作業をお願いする。中学校に1人、小学校に2人配置する。

問 アケボノゾウ資料作成委託の内容は

答 国の天然記念物に指定されたことをPRするため、縮小模型などの制作を委託する。

福祉・健康づくり

(民生費・衛生費)

主な予算項目	(万円)
各種がん健診委託料	1093
インフルエンザ予防接種	825
がん患者サポート事業	2
不妊治療委託料	120
介護保険事業 繰出金	1億147
長寿祝い金・祝い品	103
配食サービス委託料	171
もんぜん亭指定管理料	325
シルバー人材センター補助金	1000
ふれあいの郷修繕工事	2253
福祉医療費	6200
児童手当	1億2780
地域福祉計画策定委託料	150



問 児童手当の対象者数は

答 児童数948人。支給者(保護者)543人である。



問 配食サービスの利用が減ってきているが

答 配達員による手渡しで安否確認ができる。民間事業者のサービスにはない利点もあり、継続していく。

問 老人クラブの現状は

答 現在26団体が活動されている。

問 地域福祉計画の策定は

答 住民800人を対象にした意識調査と、支えあいの課題についてのワークショップを開催する。

新年度予算等を審議 大型事業を継続、子育て教育施策、 デジタル化など独自の取り組み

新年度一般・特別会計
予算、条例改正、同意
案件、請負契約、3年
度一般・特別会計補正
予算を審議可決した

◎一般会計

57億5000万円
自主財源 46・7%
依存財源 53・3%

同意

公平委員会委員の選任
岸邊 秀子 任期4年

条例改正

手数料条例の一部改正

4年度より、役場庁舎
などで、手数料などの窓
口納付にキャッシュレス
決済の導入を図るため。

個人情報保護条例の一部 を改正

3年5月19日公布の「テ

ジタル社会の形成」を
図るための関係法律の整備
に関する法律の施行に伴
い個人情報保護法の改正
が行われ、条例で引用し
ている個所の字句を改正。

固定資産税の不均一課税 に関する条例の一部改正

規定されている適用期
限が3月31日となってお
り、地域振興を図り財政
力を向上させるという中
長期的観点から、適用期
限を2年間延長し継続的
に活用するもの。

放課後児童クラブの設置 および管理に関する条例 の一部を改正

新たに多賀小学校内に
建設している放課後児童
クラブが3月末に完成す
ることにより、現在の敏
満寺清涼ファミリーステ
ーション内を閉所し、多
賀小学校内で開所する

ことによる一部の変更と
月曜日から金曜日に土曜
日を追加し、利用者負担
金の追加する所要の改正
を行なう。(土曜日を利用
される場合は、月額10
00円を加えて6000
円とする。)

第3放課後児童クラブ 建築工事の請負契約 変更

変更請負契約
7128万円
変更による増額
638万円
相手先 山崎建設(株)
代表取締役 松永 靖樹

変更理由

コロナ禍で鉄骨資材の
不足と価格の上昇、資材
待ちによる工期の延長に
伴う経費増加、建築基礎
工事中に、地中から出て
きたコンクリート水路や
切り株等の撤去経費など。

請願者 公益社団法人
多賀町シルバー人材セ
ンター
理事長 小財 久仁夫氏
紹介議員 大橋 富造
請願趣旨
5年10月から「適格請
求書等保存方式(いわゆ
るインボイス制度)」導入
後は、免税事業者である
センターの会員はインボ
イスを発行することがで
きない事から、センター
として仕入税額控除が出
来なくなり、消費税相当
額を新たに負担し納税す
る必要が生じる。少額の
収入しかないセンターの
会員の取り扱い額がさら
に減少することなく、セ
ンターにおいて安定的な事
業運営が可能となる廃止
を含む適切な措置を講じ
られるよう国に対し意見
書を提出。

請願者 絵馬通りの活性
化を考える会
委員長 大谷 重温氏
紹介議員 川添 武史
川岸 真喜
請願趣旨
旧遠藤邸(多賀634番地)
の跡地利用に関する請願
内容
1. 旧遠藤邸の跡地利用
における宅地相当2筆
分の計画を見直し、絵
馬通りの活性化が図れ
る汎用性のある土地利
用とすること。
2. 土地の処分について
は、処分要件に示され
る社会的背景を考慮し、
絵馬通りの活性化に寄
与できるものを選定す
ること。
賛成多数で採択した

発議 (第1号)

ロシアのウクライナへの
の侵攻を非難する決議。

1991年のソ連崩壊
後、ウクライナは正式に
独立国となった。独立国
である以上、国の方針を
決定していくのは、ウク
ライナ国民であり隣国の
ロシアではない。武力に
より、他国を制圧するこ
とは人道に、また現在の
国際法に照らし合わせて
も断じて許されない行為
であり、このような国際
秩序を乱す行為に対して
全世界が反対の声をあげ
この軍事侵攻を非難すべ
きである。

補正予算(第10号)

総額 9192万円(増)

主な項目

戸籍住民基本台帳費 352万円
委託料
コロナワクチン接種対策費 1696万円
県営事業負担金
芹川・犬上ダム 162万円
商工費
ふるさと楽市委託料 200万円(減)
がんばる商店応援補助 150万円(減)
観光名所ライトアップ 400万円(減)
土木費 2231万円
道路橋梁維持費
除雪委託 1776万円
道路補修 320万円
スマートインター整備
事業負担金(上り線) 2300万円



第3回目ワクチン接種

第1回臨時会

1/20

3年度一般会計補正予算 (第9号)

総額 1億4366万円(増)

概要説明

新型コロナウイルス感
染症の影響が長期化する
中、コロナ克服・新時代
開拓のための経済対策に
おいて、住民税非課税世
帯および家計急変世帯に
対し、臨時特別給付金の
交付を行う政府の方針を
受けての予算措置や、コ
ロナ禍の長期化によりコ
メの需給環境が悪化した
影響を受けての、生産者
米価下落への助成、ある
いは昨年12月18日から
降雪に伴う除雪経費や雪
の重みにより被災した住
宅の修繕支援など、早急
に必要な予算を組み、住民
の安心度を高めていくた
めの補正。



移住体験住宅 屋根損傷

移住体験住宅修繕費 170万円
住民税非課税世帯等への
臨時特別給付金の交付 8082万円
生産者米価下落に伴う
支援金 1450万円
(一袋500円補填)
除雪等費用 3522万円
被災住宅の修繕補助金 1000万円
中学校テニスコートの
フェンス破損解体撤去費 62万円
講演会中止等の違約金 46万円

繰越明許費

総額 3億6396万円

住民基本台帳ネットワー
クシステム改修事業 352万円
住民税非課税世帯等
臨時特別給付金事業 2761万円
認定こども園整備事業 5254万円
新型コロナウイルス接種
事業 3705万円
ため池改修事業 2074万円
スマートIC整備事業
1億6737万円
都市公園整備事業
3891万円
ほか4事業
道路維持管理事業
被災住宅事業
大岡高塚古墳事業
埋蔵文化財事業
1622万円

総務常任委員会

3/9

特別会計3件、請願1件を審査しました

国民健康保険

4年度予算総額

8億7297万円

前年比 9394万円(増)

問 被保険者数は

答 前年比40人増の1620人、1040世帯を見込む。

問 保険給付費は

答 医療に係る町負担分6億1120万円

問 「ビワコ好きやねん保険者協議会」のビワテ

答 クアプリなどの運営費用は1101万円

問 人間ドックの検診補助金は

答 140人、280万円



ラッピング車両

問 未就学児の保険税均等割りの軽減は何人

答 35人。

問 マイナンバーカードを被保険者証として使えるのか

答 マイナポータルというアプリで保険証として使えるようになる。

マイナンバーカードが健康保険証として利用できます!

公的個人認証サービス PR キャラクター マイキーくん

マイナンバー PR キャラクター マイナーちゃん

介護保険事業

4年度予算総額

8億7822万円

前年比 1187万円(減)

問 65歳以上の第1号被保険者数は

答 2519人。

委員会報告

問 国からの調整交付金の配分率の実績は

答 2年3月で5・35%、3年度は5・56%。

問 居宅介護サービス・地域密着型介護サービス・施設介護サービス給付費は減額予算で大丈夫か

答 コロナなどの状況で実績が減っている傾向が出始めたことにより減額。

問 介護保険の認定率は

答 3年3月は14・2%、4年3月14・3%。

問 準備基金残高は

答 2年度決算で7132万円

後期高齢者医療

4年度予算総額

1億2038万円

前年比 934万円(増)

問 県外から施設入所される方の医療費は

答 広域連合で負担。

問 4年10月から一定所得以上の方は医療費の自己負担が2割になるが対象人数は

答 1310人の内300人ほど。(約23%)

一定以上の所得のある方の医療費の窓口負担割合が変わります

請願(第1号)
「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」について、シルバー人材センターに及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる適切な措置を求める請願に対する扱いを審議。

問 導入時期は

答 5年10月から。

問 インボイス制度の中で免税的な要素を継続できないか

答 国に意見書を提出。

問 1割、2割、3割負担の所得制限は

答 3割は現役並み所得のある方で課税所得が145万円以上。

2割負担は課税所得、28万円以上かつ年収200万円以上。

それ以外は1割負担。

消費税の 令和3年10月1日 インボイス制度 登録申請受付開始!!

登録申請手続は、e-Tax をご利用ください!!

国税庁ホームページより

産業建設常任委員会

3/10

特別会計予算4件・補正予算2件を審査し、請願1件は連合審査をしました

びわ湖東部中核工業団地公共緑地維持管理

歳入

繰入金 673万円

繰越金等 53万円

歳出

草刈等事業費 727万円

主な質疑

問 2年度末の基金残高

答 3億4213万円

問 事業費は草刈だけか

答 街路灯の保守も見て。



萱原地区処理場

農業集落排水事業

歳入

使用料 504万円

県支出金 685万円

繰入金 5034万円

繰越金 163万円

町債 550万円

歳出

総務費 677万円

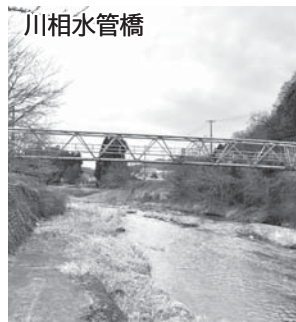
需用費 470万円

管理費 2897万円

起債償還・利息 2892万円

問 今後の計画は

答 県の補助金を使い今後の方針を決めたい。



川相水管橋

問 和歌山県で水管橋事故があったが多賀町は

答 川相水管橋が44年経過している。

問 布設替工が必要な距離は

答 約15kmある。

問 雨水排水工事は

答 中川原地区、旧四手川を計画している。



旧四手川

閉会中の調査

2/4

当町の入札制度と、除雪体制について

*入札制度

一般競争入札、指名競争入札があり、予定価格100万円以上は入札としている。

入札執行は、当日朝に町長が予定価格と最低価格を決定し、予定価格内で落札者を決定する。3年11月から、一部電子入札を導入している。

*除雪体制は

職員による16班除雪、10社による業者委託、2集落の集落除雪、ふるさと除雪事業で実施している。

課題として、オペレータの高齢化、受託業者の不足、住宅団地の新設など、路線延長増加への対応が必要。集落除雪の拡充を、進めていきたい。

委員会報告

問 雨水排水工事は

答 中川原地区、旧四手川を計画している。

かみざい く むねひろ ■ 神細工 宗宏	12
◎山間地域活性化の予算は ○雪害対策は	
こん どう いさむ ■ 近藤 勇	12
◎買い物弱者への支援は	
すがもり てる お ■ 菅森 照雄	13
◎療育手帳(B)の軽自動車税減免は ○町内に障がい者のグループホームの開設を	
とみなが つとむ ■ 富永 勉	13
◎ワクチン接種、児童の接種は ○除雪時の排雪処理、また集落除雪等でのオペレーターの確保・養成について	
かわ ぞえ たけ し ■ 川添 武史	14
◎新年度予算は充分か ○新型コロナウイルスワクチン接種について ○道路、河川の管理状況について	
まつ い わたる ■ 松居 亘	14
◎選挙公約の進捗は ○小学校の教科担任制について ○水道施設の老朽化への対応について	
やまぐち ひさ お ■ 山口 久男	15
◎放課後児童クラブの運営は ○雪害対策と被災住宅修繕緊急支援事業について ○公共施設等適正管理推進事業費の活用について ○公共交通について	
きのした しげ き ■ 木下 茂樹	15
◎SDGsの進捗状況は ○『孤立』を避ける除雪の再考を	
しみず とく こ ■ 清水 登久子	16
◎エンディングノートの配布は	
かわざし まさ き ■ 川岸 真喜	16
◎未接種者への対応は ○新ごみ処理場の建設と指定ごみ袋の価格平準化について ○これからの森林整備は	

(注)○印の内容は掲載しておりません。

3月定例会

10人が一般質問 町政を問う

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

町政を問う



2月9日午後2時から多賀町役場3階委員会室において、『もんぜん市運営協議会』の皆さんと、意見交換会を開催しました。

意見交換会① もんぜん市運営協議会の皆さんと

もんぜん市の始まりは

『町からのすすめもあり、野菜生産者の有志で立ち上げました』
『初めは公的な補助もありませんでした。その後は利益が出るように自分たちで運営を工夫しています』

販売日はいつですか

『はじめは週1回でしたが、お客さんが定着するためと、売れ残りを防ぐために、月・水・土の週3回にしました』
『お客さんが定着し、販売量も増えました』
※(9時～11時30分)

要望事項

- ① 行政による直売所を始めた経緯から積極的な行政の支援を求める。
- ② レジ等、経理のシステム管理の人的・物理的支援を求める。
- ③ 有線放送でのPR放送など販売促進の支援を求める。

これからの運営は

『定年後に小規模な農業を始める方が多いですが、若い人で農業をする方が少なく、入会もありません』
『バーコードによる経理のシステムが古くなってきています。経理など運営の人材が不足していて、このままでは存続できません』



3月2日午前10時から、多賀結いの森会議室において、『多賀町母子福祉のぞみ会』の皆さんと意見交換会を開催しました。

意見交換会② 多賀町母子福祉のぞみ会の皆さんと

どんな活動をされていますか

『母子家庭という名称から、男性一人で子育てされる家庭も含め、ひとり親家庭と呼んでいます』
『ひとり親家庭へ、県からのサポート定期便を配布したり、お話を聞いたりにして支えあっています』

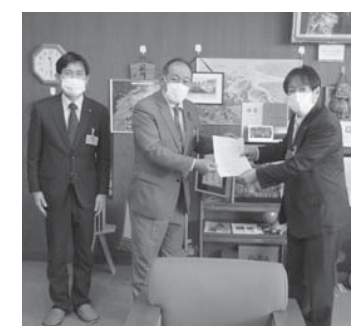
これからの運営は

『個人情報関係で、会への勧誘が難しいです』
『情報が得やすい時代になり、若い人どうしで互いに支えあっておられると思います』
『私たちのぞみ会は、結いの森で会合を開いて、調理実習や季節の飾りものを作ったりしています』
『情報交換もできて、得になることがいっぱいあります』

要望事項

- ① ひとり親家庭推進委員の補充など、母子、父子家庭のニーズに応えた相談体制の充実。
- ② 会員の高齢化と減少が進んでいる、全国組織である当会の存続のため、若い世代の入会の促進に協力願いたい。

意見交換会でお聞きした要望を、議会基本条例に基づき、町長へ要望しました。





山間地域活性化の予算は 必要予算を計上する

かみぎい く むねひろ
神細工 宗宏

問 ①「多賀町里づくり魅力化プロジェクト」の各部署ごとの進捗状況は② 商社を立ち上げると聞いていますが、どの様な形で立ち上げるのか③ 多賀町里づくり魅力化プロジェクトを実現するための予算は④ 中山間地域への子育て世代の移住に関する施策とその予算は

企画課長

答 ① プロジェクトでは、「交流・情報」「農林産物と食」「子育て」「福祉」「住」の6つの課題、テーマとして活動している。

・大滝神社旧宮司宅をリフォームし、4月から地域おこし協力隊員の育成支援、事業の創発、地域

域おこし協力隊員の移住体制を完了した。

・「多賀町大滝里づくり通信」を2回発行した。

・旧営林署を借り、宅配弁当の実現に向けて厨房の改修工事を終え、保健所への営業許可手続中で、最終的には農家レストランを目指す。

・放課後の子ども達の居場所づくり、高校生の通学支援の検討、対象者にアンケートを実施した。

・買い物支援として、インターネットを活用し「世界市場」人の移動として、福祉的な互助交通を検討。

・県立大学と連携し、地域おこし協力隊員の育成支援、事業の創発、地域

資源を活かした、地域商社の立ち上げを目指す。

②「大滝の活性化」「まちづくり」を目的とした地域商社、NPO法人の設立を目指している。

③ 地域おこし協力隊報酬と活動費補助金を合わせて762万6千円、大滝地域活性化支援委託料186万8千円、他の微額と合わせて、962万7千円を計上。

④ 既存の補助で、若者定住支援事業助成金89万3千円、都市圏から移住就業支援事業費補助金100万円を計上、他にも、空き家改修補助金で若者世帯には上限100万円を計上。

療育手帳(B)の軽自動車税減免は 税相当額を補助する



もり てる お
菅 森 照 雄

3年12月議会一般質問で、「軽自動車税は町長の判断で減免できるが、減免できないのであれば減免に代わる支援は考えておられないのか」に対し、「障がいの程度、状況はさまざまで、家族の支援は必要であると考えている。

今後、障がいの福祉施策として調査研究の上、今年度中に考えさせていきたい」との答弁をいただいている。

問 調査研究の結果、どのような施策を考えているのか

答 中度・軽度知的障がい者が自ら使用する自動車および当該知的障がい者と生計を一にする者が使用する自動車は、日常生活にとつて不可欠の生活手段となっている。知的障がい者が支障なく、社会生活を営むことができるようにすること

税務住民課長

問 中度・軽度知的障がい者が自ら使用する自動車および当該知的障がい者と生計を一にする者が使用する自動車は、日常生活にとつて不可欠の生活手段となっている。

答 中度・軽度知的障がい者が自ら使用する自動車および当該知的障がい者と生計を一にする者が使用する自動車は、日常生活にとつて不可欠の生活手段となっている。



療育手帳(見本)

を目的として、「多賀町中度・軽度知的障害者社会生活支援補助金交付要綱」を定め、軽自動車税相当分を補助する。

対象は、療育手帳Bの判定を受けた者で、本人が、運転またはその者と生計を一にしている者が通院、通学、通所、通勤送迎等に利用する自動車、生計を一にしている者が支払った軽自動車税または自動車税の相当額とする。

補助金の上限は1万2900円。

町政を問う

買い物弱者への支援は 地域に根差した取り組みを



いさむ
近藤 勇

本町の高齢化率は、高島市に次いで県内2番目の33・46%であり、ここ5年の間で免許を返納された方が156名。

私は、生活、買物の利便性が求められている時代の流れの中、今後取り残される方がますます増えること心配、危惧している。

問 買い物弱者に対しての取り組みの方向性は

答 全国的にも高齢者の交通事故が多発する中、事故の当事者とならないように、自主的に自動車免許の返納を判断される方が増えている。

移動手段は、公共交通として、コミュニティバス、近江鉄道、愛のりタクシーなどがあるが、時間の制約、乗り継ぎの煩わしき、料金など、自家用車と比較すると、格段に利便性は劣ります。

公共交通としては、

個々のニーズに合わせることはできず、不便さは理解していただきたい。

地域で、互助の買い物支援として、近隣の方が必要とされる物を、代わりに購入され、お届けされている仕組みもあります。

観光に訪れる方を見込んだ店舗が多く、生活に密着した店舗は少ないと感じている。今後、絵馬通りの活性化を進めていくにあたり、観光面だけに限らず、地域の皆さんが買い物できる店舗を開業していただくと有り難いが、経営を持続すること、新たな開業は、並々ならぬ努力でも、難しいのが実情である。

多賀大社前駅のコミュニティセンターでの「もんぜん市」をはじめ、さまざまな地域に根差した取り組み、買物をいただける機会もあり、今後さらに利用いただけるように取り組みたい。



ワクチン接種、児童の接種は 親切的な対応に努める

とみなが
富永 勉

全国的に10歳未満の子どもたちの感染者が数多く報告され、本町でも10歳未満の児童の感染が報告される中、国では3月以降に5歳から11歳の子どもたちを対象とした子ども用の新型ワクチン接種を進める方針が示されている。

問 ① 5歳から11歳の子ども達の接種計画、方法は

答 ② 子ども達の保護者からの相談および対応は

福祉保健課長

答 ① 今回のオミクロン株による感染は、当町でも第5波とは全く様子が違い10歳以下の児童の感染者が多く報告されて

現在、個別接種の方向で、彦根医師会、豊郷病院および湖東圏域の市町との調整中であり、まず

は、感染した場合、重症化する危険性のある慢性呼吸器疾患や先天性心疾患など重症化リスクの高い基礎疾患をもつ児童を優先して接種できるように調整に入っています。

② ワクチン接種についてのご相談は、現時点ではありません。

今後、接種券や案内を送った後には、具体的な相談が寄せられると想定している。相談があった場合には、不安や心配が解消され、納得いただけるよう、親切丁寧な対応に努める。



町政を問う



新年度予算は充分か 必要時は補正で対応

問 年度の一般会計予算は57億5000万円、3年度予算から大きく9億4600万円の増額となっています。

答 副町長 臨時財政対策債の減額については、引き続き抑制の方向であると考えられる。

副町長

今後の経済の動向や国の財政状況によっては、交付税の財源不足が生じることもあり、十分注意をしていく必要がある。また、特別交付税につきましては算定基準が全

面公開されていない。増減の理由を把握していないが、特殊な事情の場合には特別交付税の趣旨からして増額も見込まれ

す。昨年夏の豪雨や今年の冬の豪雪、こうしたときに国、また県に財源確保について支援をお願いした。

平成28年度からの5年間の6町における特別交付税額を比較すると、本町はほぼ横ばいを維持し、他の4町は大きく下がっている。

一概に本町だけが特別交付税が低いということにはならないと考える。歳出についてはですが、保育所費の保育士の人件

費は、単純に保育所費だけを見るのではなく、それぞれ施設の園児の入園数によって算定している。保育、教育施設3園、ささゆり保育園、たきのみやこども園、多賀幼稚園のトータルで見っていく必要がある。

3年度の人件費は、3園合わせて3億300万円、4年度では3億円と

なっており、300万円の差異が生じているが、これは退職者等新たに採用する保育士の給与実態が違い、この差にあると思っている。



放課後児童クラブの運営は 成長できる場を提供する

山口 久男

問 ① 放課後児童クラブの定数は。また、現在の利用登録の見込みは。② 支援員、指導員の確保の見通しは。③ 学童保育所に勤務する職員の処遇改善はどのようにするのか。④ 子どもの学習支援など、保育内容の充実についてどのように考えているか。

教育総務課長

答 ① 既存の施設が80名、新施設が60名。合計140名。

利用申込数は、現時点では通年利用が110名、また、土曜利用については110名のうち6名の申し込み。

② 資格のある支援員8人と資格を持たない支援補助員も2人を配置し、包括として所長を配置する。③ 他市町の同施設と比較してもほぼ同様の水準と認識している。支援員の派遣に係る費



竣工式

用についても一定考慮し算出している。

④ 国の基準において、利用児童には適切な遊びと生活の場を与え、基本的な生活習慣の確立を図るものとなっている。

町としてもこれを基本とした上で時間割や施設での過ごし方を決めて運営している。

学習面だけでなく遊びや体験、異学年との交流など、学童での生活が有意義な時間となるように日々成長できる場として工夫しながら運営していきたい。

選挙公約の進捗は 町の施策として進める



松居 亘

問 ① 林業、農業、商業との連携による体験型観光プログラムの開発や観光による元気な地場産業づくりにどのように取り組むか。② 町内の農産物の直売所の設置についての考えは。③ 買い物関係改善のために、スーパーの誘致や中山間地域での対応についての考えは。④ 大型遊具のある公園の取り組み状況とその開園時期はいつか。

町長

答 ① 町の各集落は負けず劣らず十分な見どころがあり、それを点と点で結びながら、地域の産業を紹介し体験をしてもらう。企画課、産業環境教育委員会等の協力を図り進めたい。



② 自らが販売する場所を開設することも農業の活性化に向けた一つの施策である。

③ 営利目的の商業施設の誘致は容易ではない。町内から10分も車で走れば商業施設を選べる環境にあり、買い物に不便性はないのでは。危惧するのは、高齢者世帯などでの買い物のための移動手段や移動販売の提供、生協等の活用など、より良い方法を見定める。

④ 公園整備の設計作業を進めていて4年度に公園用地の購入、5年度にかけて工事に着手、5年度秋頃開園予定。



木下 茂樹

SDGSの進捗状況は 総合計画に反映

税務住民課長

ワンストップサービスの提供を進めて、オンライン等による電子納税にも取り組む中。

地域整備課長

地域との連携を強化し、気候等の突発的な変化への対応力と住民パワーを発揮してもらえ条件整備に取り組む。

産業環境課長

現状と課題を明確にし、生活環境、農業、林業、商工、観光等の各分野と連携を図りつつ、環境に配慮した取り組みをする。

会計管理者

ほぼすべての支払いを口座振込に変更し、窓口でのキャッシュレス決済を推進する。

学校教育課長

質の高い教育課程のために取り組み中。地域の課題を見つけ、それぞれがどんなことができるかを考える活動など。

教育総務課長

子どもたち一人ひとりの個性を大事にしながら、健やかに成長できるように支援の取り組みを進める。

生涯学習課長

誰もが生涯にわたって学ぶための環境、又は機会の拡充に取り組む。

町長

この取り組みは、総合計画に反映している。② 2030年、10年間の窓付き封筒は現在も使用中。行政として個人情報を含むため、送り先と同封する書類に間違いは許されない。

住んでよかった・住み続けたい町 開かれた議会に

新体制が決まりました

議長 **松居 亘** 副議長 **大橋 富造**

- 各委員会** ◎委員長 ○副委員長
- ◎川添 武史
 - 菅森 照雄
 - ◎神細工 宗宏
 - 菅森 照雄
 - ◎川添 武史
 - 菅森 照雄
 - ◎神細工 宗宏
 - 菅森 照雄
 - ◎川添 武史
 - 菅森 照雄
 - ◎神細工 宗宏
 - 菅森 照雄
- 総務常任委員会**
- ◎川添 武史
 - 菅森 照雄
 - ◎神細工 宗宏
 - 菅森 照雄
 - ◎川添 武史
 - 菅森 照雄
 - ◎神細工 宗宏
 - 菅森 照雄
- 産業建設常任委員会**
- ◎山口 久男
 - 木下 茂樹
 - ◎山口 久男
 - 木下 茂樹
 - ◎山口 久男
 - 木下 茂樹
 - ◎山口 久男
 - 木下 茂樹
- 議会広報常任委員会**
- ◎神細工 宗宏
 - 木下 茂樹
 - ◎神細工 宗宏
 - 木下 茂樹
 - ◎神細工 宗宏
 - 木下 茂樹
 - ◎神細工 宗宏
 - 木下 茂樹
- 議会運営委員会**
- ◎富永 勉
 - 川添 武史
 - ◎富永 勉
 - 川添 武史
 - ◎富永 勉
 - 川添 武史
 - ◎富永 勉
 - 川添 武史
- 彦根愛知犬上
広域行政組合**
- ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
- 一部事務組合**
- ◎彦根市犬上郡宮林組合
 - ◎神細工 宗宏
 - ◎彦根市犬上郡宮林組合
 - ◎神細工 宗宏
 - ◎彦根市犬上郡宮林組合
 - ◎神細工 宗宏
 - ◎彦根市犬上郡宮林組合
 - ◎神細工 宗宏
- 湖東広域衛生管理組合**
- ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
 - ◎松居 亘
- 監査委員**
- ◎竹内 薫
 - ◎竹内 薫
 - ◎竹内 薫
 - ◎竹内 薫
 - ◎竹内 薫
 - ◎竹内 薫
 - ◎竹内 薫
 - ◎竹内 薫

議員の紹介



- ◎神細工 宗宏 議員
- ◎木下 茂樹 議員
- ◎川添 武史 議員
- ◎菅森 照雄 議員
- ◎大橋 富造 副議長
- ◎竹内 薫 議員
- ◎松居 亘 議長
- ◎川岸 真喜 議員
- ◎近藤 勇 議員
- ◎富永 勉 議員
- ◎清水 登久子 議員

エンディングノートの配布は 啓発を進めていく



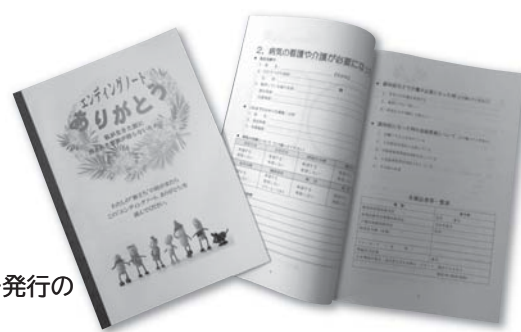
清水 登久子

問 誰もが迎える最期の時に備えて安心できるためのエンディングノートの配布や取り組みについての考えは

答 福祉保健課長 エンディングノートを書いておくことは万が一の時、延命治療や介護また葬儀などで家族が判断しなければならぬ際に家族の心理的負担の軽減につながるでしょう。福祉保健課でエンディングノートの意義や記載について紹介することも

人生の最期の迎え方や万が一の準備にとどまることなく1年後、5年後10年後どのように暮らしていたいのか、その為、自分ができること、取り組めることを考えていく。

自分も家族も満足の得られる最期を迎えたいから、啓発はこれからますます重要になる。



大津市シルバー人材センター発行のエンディングノート

町民の皆さんにエンディングノートの認知度が高まり関心を持って貰いたい。

現時点では、配布する計画には至っていないが、今後啓発を進めていく中で、出前講座の際に紹介ができるようにしたい。

町政を問う



未接種者への対応は 体制は整っている

川岸 真喜

問 ① コロナワクチン未接種者の割合と人数は

答 ① 4年2月末現在未接種者は516人。割合は全対象者の7.7%。当町で追加接種スケジュールの中で集団接種会場

② 濃厚接触者の特定方法など、第6波の調査方法に変化は

③ 体操や認知症予防など町全体でのとりくみの現状は

今後の高齢者への福祉活動は(サロン等福祉活動再開条件は)

で1、2回とも受けることが可能。また4月以降実施予定の滋賀県北部広域ワクチン接種センターでも受けられる。

② 同居家族以外で、患者からの感染が疑われる濃厚接触者への連絡は患者自身がする。

学校や保育園、高齢者施設などは、施設管理者が濃厚接触者の判断をする。施設等での濃厚接触者は直接、ネットや電話で行政検査を申し込み受ける。

③ 感染者対策とフレイル対策をしっかりと両立させることが重要です。地域での感染状況を把握し活動規模や開催方法を工夫し活動を進めていく。

地域での活動や取り組みを進めるため、安全にサロン活動が運営できるよう、福祉保健課や社会福祉協議会で随時相談に応じている。地域ごとの特徴や強みなどを活かしながら孤立、孤独に陥る人の無いよう努める。



結のひと結のまち

第8回

美しい文字・言葉の力を
言葉書道教室

多賀町教育委員会の書道講座終了後、松宮忠夫先生のご指導を引き続き受けたいという願いで、サークルとして発足しました。

しかし、発足当初は全て松宮先生にお世話いただいております。

新しい中央公民館「多賀結いの森」ができたこ



とを契機に、サークルの中で世話係を決め、会場の予約、教室の運営にかかる費用の徴収、教室の開催案内をするようになりました。

月に一度、中央公民館に集まり活動しておりますので、その様子を紹介

まず、先生にご紹介いただいたお手本の中からその時間に練習しようと思うもの、家で書こうと思うものを選びます。手本が決まったら、いよいよ練習開始です。墨池に墨液を入れ、自分なりに書き始めます。練習したところ、先生が実際に半紙に手本を書いてくださいます。



横で筆遣いを見せていただく、筆勢の強弱、墨の濃淡がわかり、とても参考になります。

条幅の練習は、床に新聞紙、下敷きを引いて書いています。

そこでも手本を書いていただきます。文字の形はもちろんですが、作品全体として、文字の部分と空白の部分のバランスを考えて書く

ようご指導いただいています。

家で練習してきた作品も含め、よい作品ができるときは残して、家で飾るようにも言われます。雅号の下に落款を押すと、自分の作品が一つ仕上がったように思えます。

形の整った美しい文字を書くことはもちろんですが、それと共に、言葉のもつ意味を考え、言葉に対する畏敬の念をもつこともご指導いただいております。

次回開催される文化展を目標に、これからも先生のご指導を受け、練習を続けていきたいと思っております。興味のある方は、どうぞお越しください。一緒に練習しましょう。

代表者 富田 愛子 記

議会を傍聴してみませんか？

議員や行政は、どんなまちづくりを考えているのか、直接、見て、聞くことができます。ぜひお越しください。

6月定例会の予定

6月 7日(火) | 9:30~ 定例会開会

・町長が町政報告と議案提案を行う。

6月 8日(水) | 9:30~ 一般質問

6月 9日(木) | 9:30~ 一般質問

・議員が町政について質問します。

6月 22日(水) | 13:30~ 定例会閉会

・初日に提案された議案を採決します。

※日程は、変更になる場合があります。



※座席は21席あります。(コロナ対策で制限する場合があります)

編集後記

議会広報紙の基本は、議事の全面公開を原則として町民の知る権利、議会人として知らせる義務を構築してまいりました。字体のフォントを目にやさしいユニバーサルデザインに変更しました。町民の皆さんと共に歩む企画として、裏表紙に

多賀結いの森で活躍されておられる各サークルを紹介してきました。新企画として、議会改革の最中、各団体の皆さんと意見交換会を開催しており、その記事を掲載しております。町民の皆さんと寄り添い多賀の発展に繋がっていきます。

広報委員会より

発行 / 多賀町議会
編集 / 議会広報部 担任委員会

T 522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
R 0749(48) 8126 FAX 0749(48) 8131
有線 2-2011

ホームページ <https://www.town.taga.lg.jp/>